

社保協自治体キャラバン

八戸で前進(期待)

子ども医療費が中学まで無料化へ

11月13日から16日までの4日間、三八社会保険推進協議会(三八社保協)は三八地区の7自治体を訪問、国保、介護、医療、生活保護、健診並びに子どもの貧困にかかわる懇談を行いました。懇談は、事前に県社保協から送られた「2017要求事項」についての回答を聞きながらのやり取りとなりました。

16日の八戸市との懇談には、八戸医療生協や新婦人、生健会、地労連、年金者組合、八戸民商等から29人が参加。日本共産党の田端文明市議、苦米地あつ子市議も同席しました。財政運営の責任主体が県になる来

年度の国保税について担当者は、詰めてはいないが、個人の判断として少し上がるかも知れないと思うと発言しました。子ども医療費助成について、中学校卒業までの医療費無料化は市長の公約であり、まだ確定は



八戸市との懇談で発言する中道議長

三八地労連

ニュース

三八地方労働組合総連合 今年号
(三八地労連) ● 2017
11月22日発行・157号
●八戸市柏崎1-10-34
☎0178-47-8886

安倍9条改憲NO! 安倍「働き改革」反対!

していないが実現が期待できると回答しました。通院についてはこれまで就学前までの無料化だったので大きな前進と言えます(入院については高卒年齢まで無料)。生活保護については、資産申告に関わるやり取りがありました。後期高齢者の健診について、「他の町村は国保の特定健診と同様の項目で行っているのに八戸市ではどうして出来ないのか」との発言が参加者からあり、市側は、要

望は他からも聞いている、そのための費用は大きな金額ではないが増やすことについて検討はしていないと述べました(関連裏面)。最後に子ども貧困問題に関わり、就学援助制度の新入学生児童生徒学用品・通学用品費の支給をできるだけ早めて、入学に間に合うようにしてほしいとの参加者の要望に対して、来年度の新中学生については今年度(末)の給付が実現しそうで、小学生についても支給時期を早める事をめざすとの前進的な回答がありました(裏面参照)。

16日の三戸町との懇談では、中学生まで医療費無料だったのを今年4月から高校の入院まで拡大し、三八管内では最も先進的になったことが回答されました。他の町村についてはほとんど変更がありませんでした。

高橋千鶴子衆院議員 八戸病院を視察

9月26日、高橋千鶴子衆院議員が「医師確保問題・療養介護事業問題」について八戸病院視察を行いました。

2018三八地労連旗びらき
日時 2018年1月12日(金)18:30
会場 友の会福祉会館(旧三八教育会館)
会費 2,000円
申込 1月9日(火)までに事務局へ
(電話・Fax 0178-47-8886)



組合事務所で懇談-撮影者のミスで写真真角切れ

の状態だが、機構本部へ療養介助員の増員を要求し、常勤化を計画している。また、年休取得については、2017年3月28日に団体交渉を開催し、改善に努力している。有休取得率は平均14日であり、夏期休暇の連続10日間の連休を受け入れたなどの報告がされたことでした。

した。懇談会に参加した支部役員・組合員から、安全・安心の医療・看護の提供のために、自分たちで現状の再確認・点検をおこなう必要性や、医師の確保により、一人の医師の判断だけではなく複数の医師での治療方針の決定やチーム医療の大切さが挙げられ、「療養介護事業」については、人材確保の面からも療養介助員の常勤化の必要性があるなどの意見が出されました。全医労八戸支部は引き続き、職場アンケートの内容等を踏まえ、団体交渉により職場環境の改善を求めていく構えです。

全医労八戸支部・森越美智子

【当面の日程】

- 11月28日 消費税街宣13:30三春屋前 労働法制14:30三春屋前
- 11月30日 自治体要望書検討会18:30 教組事務所
- 12月2日 県労連幹事会10:00県労連 県労連評議員会
- 12月5日 地労連幹事会⑤18:30教組
- 12月9日 6・9行動13:00コープあ

おもりのいけ店

- 12月16日 築こういのちのとりで裁判決起集会14:00青森文化会館
- 12月19日 戦争法廃止スタンディン グ13:30三日町交差点周辺
- 12月24日 うたごえ喫茶inはっち
- 1月5日 県労連旗びらき、18:00
- 1月9日 地労連幹事会⑥18:30教組
- 1月12日 地労連旗びらき18:30友の会福祉会館

※毎週金曜17:15から金曜行動(有無はデリーー東北きょうのメモ)

核兵器の時代に終止符を

ヒバクシャ国際署名学習会に 60 人

11月13日はつち広場で、ヒバクシャ国際署名をすすめる青森県連絡会主催・八戸原水爆禁止の会等の共催で、ヒバクシャ国際署名学習会が開催されました。講師は日本被団協事務局次長の藤森俊希さんで、およそ60人が参加しました。

藤森氏は、ご家族8人の被曝とヒロシマの街の悲惨な様子を語り、核兵器廃絶をと口調を強めました。核兵器を巡る世界の動きをたどり、「核兵器の時代に終止符を」と訴えた赤十字国際委員会総裁の声明を契機に、核兵器の非人道性に焦点を当てた国際会議の潮流が生まれ、「核兵器不使用こそ人類の利益」「核兵器の不使用を保障できるのは廃絶以外にあり得ない」と結論。そうした流れを受けて



藤森俊希被団協事務局次長がはっち広場で講演

日本被団協は、二度とヒバクシャをつくらせないとの思いを込め、昨年4月にヒバクシャ国際署名を呼びかけた。その時にはこんな早くとは思っていなかったが今年7月に国連で採択された、と喜びを語りました。また、ご自身が会議で、「『ふたたび被爆者をつくるな』との被爆者の訴えが条約に書き込まれ、世界が核兵器廃絶へ力強く前進することを希望します。法的拘束力のある条約を成立させ、発効させるためにともに力を尽くしましょう」と発言したことを報告しました。

県連絡会の集約によると県内のヒバクシャ国際署名の数は11月で8万筆を超え、年内の目標10万筆に近づいています。また、八戸原水爆禁止の会は12月から3月までの6・9行動(ヒバクシャ国際署名)をコープあ

三戸郡・小学校道徳で

問題の多い教科書(教育出版)を採択

教科書ネット会報を読んで、三戸郡で、来年から使用される小学校道徳教科書として、問題のある「教育出版」を選定したことを知りました。現職の方に確認したら、それは事実のようで、彼も最近知ったそうです。不意打ちのような感じですが、「教育出版」教科書の問題を我がこととしてとらえていなかっただと反省します。依義文・子どもと教科書全国ネット21事務局長はこの教科書について①2年生で扱っている「国旗・国歌」が他社と比べても異常に大きく偏った取り上げ方をしています。「君

地労連秋のレク

おもしろいけ店店頭で行う予定です。

10月22日、地労連秋のレクが行われ10人が参加しました。朝から小雨の降る肌寒い天気でしたが、まつりめぐり広場で合流、洋野町のおおのキヤンパスに向かいました。

パークゴルフは年に一度のプレイで悪戦苦闘かと思いきやホールインワンが二人、他の方々も好成績でした。その後の昼食はバーベキュー。炭火で焼かれた肉、野菜、焼きそばを平らげながら楽しく交流しました。中道議長は、地労連レクを一大行事として、もつと多くの仲間に参加を呼びかけていきたいと思います。

最後は、それぞれが産直や温泉、お土産などに足を運び、散会しました。(山田優二)



おおのキャンパスで焼肉

規制・強制が至る所に強く出ています。

等と指摘し、この教科書は、「日本国憲法を敵視し、日本の過去の戦争を正当化する『戦争肯定』の、新しい歴史教科書をつくる会系の教科書と同じようなものだ」と指摘し、採択に反対する世論拡大を呼びかけています。(新聞武信)

2017年金一揆

10月17日、2017年金一揆が小中野公民館で開催され、50人が参加しました。橋場丈俊弁護士が「年金裁判のこれまでとこれから」のテーマで講演と質疑を行い、その後、八戸生健会・神田洋一さん、八戸医療生協・宮沢守さん、三八地労連・中屋敷泰一さん、新婦人八戸支部・山本さんがリレートークを行いました。最初と最後は、元気なうたごえを響かせました。

後期高齢者の健診

社保協キャラバンで後期高齢者の健診について聞いた。五戸では、国保の特定健診と後期高齢者の健康診査の項目はほぼ同じ(腹囲がないだけ)。人間ドックは行っていないが、オプションを全部付けばほぼ同じ(腹部エコーがない)。田子町の場合は、後期高齢者は希望により特定健診を受けられます、となっていた。他の町村も同様。

八戸では後期高齢者の健診項目が少なく(広域連合の項目で実施している)、年金者組合・地労連として充実(国保と同じ項目)にするよう求めてきたが、なかなか前進していない。

新入学児童生徒学用品・通学用品費 経済的な理由で小・中学校の就学費用の支払いが困難な家庭に対して給食費や学用品費などの一部を援助する就学援助制度の一つです。文字通り、小学校入学と中学校入学に際して支給されます。これまでは6月頃の支給になっていましたが、お金が必要な入学前の時期の支給を求めらる保護者や教職員の声が教職員組合にも届いています。全国各地ではこの要望にこたえて支給の時期が早められています。就学援助の申請用紙は各学校にあり、提出先も子どもが通う学校です。なお、私立小・中学校に在籍している場合は対象になりません。

